

SSH特別事業地域復興論・科学芸術 人吉研修 実施要項

令和4年度12月5日
SSH探究部

1 目的

熊本県立球磨工業高校へ訪問し、本校SSHIV期で行ってきた「地域復興論」「文化財保存」及びV期より実施をはじめたSTEAM教育「科学芸術」の一部として実施し、理数科及び美術科が協働しながら学ぶことで、独自の視点で新しい課題やテーマの発見に結びつける。

2 期日 令和4年(2022年)12月21日(水) 13:30~15:30

3 訪問校 熊本県立球磨工業高等学校 熊本県人吉市城本町800

4 参加者

生徒 1年理数科 41人
1年美術科 41人
引率 染森千佳、田嶋努、大里卓、木田和美

5 タイムスケジュール

①②授業

10:30 第二高校正門前集合、点呼、バス乗車

10:40~出発

11:50 昼食休憩：青井阿蘇神社駐車場(車中で黙食、休憩時間境内の見学、手洗い等)

12:50~出発

13:15 球磨工業高校到着

13:20 開会：オリエンテーション(このときにクラスではなく、各グループで整列)
場所：セントラルパーク [雨天時は電気科ピロティ]

13:25 グループごとに始めの学習場所へ移動開始 [D→C→B→Aの順]

Aグループ・・・建築計画室：学習①「日本建築について」

Bグループ・・・木工室1階：学習②「大工道具について」

Cグループ・・・木工室2階：学習③「^{きくじゆつ}規矩術、^{つぎて}継手・^{しくち}仕口について」

Dグループ・・・専攻科2階：学習④「宮大工の技術と技能について」

13:30 伝統建築についての学習

時間	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
13:30-13:55	学習①	学習②	学習③	学習④
14:00-14:25	学習②	学習③	学習④	学習①
14:30-14:55	学習③	学習④	学習①	学習②
15:00-15:25	学習④	学習①	学習②	学習③

※トイレ休憩は移動中各自でとる

15:30 閉会 (まとめ)

16:00~球磨工業高校出発

17:30 第二高校着

6 準備

①グループ分け・・・A, B, C, Dの4つのグループへ事前に分けて、生徒へ周知(別紙)

②服装等・・・制服、上履き(体育館シューズ等【スリッパ不可】)

③その他・・・昼食、飲み物、タオル

7 事後指導 事後アンケートを球磨工業高校と共同で実施

8 学習内容

学習① 「日本建築について」 担当：松葉先生

過程	時間	学習活動	備考
導入	2分	・日本建築とは	
展開	20分	・日本建築のかたちと装飾 ・伝統的木造建築物の保存等について講義を実施	スライドを使用した講義。 日本建築（伝統的木造建築物）に関する基礎的な知識を確認してもらいたい。 （内容については現段階では未確定）
まとめ	3分	質疑応答	

学習② 「大工道具について」 担当：西田先生

過程	時間	学習活動	備考
導入	5分	・大工道具の紹介と説明	のの 鑿、鉋、鋸、差金、墨壺、玄翁などの展示 <small>のみ かんな のこぎり さしがね すみつぼ げんのう</small>
展開	15分	・大工道具の見学 ・鉋削り体験 ・鋸挽き体験	作業台・削り台の準備（5台・・・20人 ÷5台=1台当たり4人）※4人の内、1人は鉋、もう1人は鋸、残り2人は見学。 交代しながら体験を行う。 30角程度の木材・・・10本 小鉋・・・5丁 鋸・・・5本の準備
まとめ	5分	質疑応答	

学習③ 「規矩術、継手・仕口について」 担当：岩永先生

過程	時間	学習活動	備考
導入	5分	規矩術について	勾、爻、玄について
展開	15分	継手・仕口について 組立 荷重をかけ、強度を比べる	作品に触れ伝統技法を学ぶ
まとめ	5分	質疑応答	

学習④ 「宮大工の技術と技能について」 担当：多武先生

過程	時間	学習活動	備考
導入	5分	宮大工の技術と技能	社寺建築の図面と原寸図、槍鉋と鉋の展示
展開	15分	・木割りと原寸図の説明（技術） ・古代の製材法、槍鉋と鉋の実演（技能）	社寺建築の設計法である木割と、専攻科で製作した原寸図の説明 槍鉋と鉋の説明と実演
まとめ	5分	質疑応答	

5 予算

大型バス2台の手配がSSH予算より支出する。